

今月の特集関連本 ②

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1028) にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



援助者必携 はじめての精神科

第3版

春日武彦＝著

定価 2,200 円／A5 判・336 頁／医学書院／2020

きれいごと一切ナシ！ 口は悪いが役に立つ！ 同じ精神科の最前線で働く者だけが知る共感力を全開にした「超実践的アドバイス」集の第3版。クレーマー対策、援助者としてのアイデンティティの保ち方、当事者・家族に対峙する時のちょっとしたコツなど、「こんなこと、誰も教えてくれなかった」度はますますアップ！ 初めて精神科に足を踏み入れたなら誰もが感じる「不安」を、優しく解きほぐす。



精神科シンptomatロジー

症状学入門 心の形をどう捉え、どう理解するか

内海 健、兼本浩祐＝編

定価 5,500 円／B5 判・200 頁／医学書院／2021

本書は精神科の症状—シンptomatロジー—についての本である。日々の診療で出会う症状について、それをどうとらえどう理解すればよいのかについて、それぞれの専門家によって平易に、そして各論としての用語集は説き語り風に、書き下ろされている。臨床家が症状を把握するそのアクティブな現場に立ち返り、その基本的な問題を説き起こし、より豊かで効果的な診療に役立つ視点と知識を提供することを企図してまとめた。



ケースでわかる！ 精神科治療ガイドラインのトリセツ

EGUIDE プロジェクト＝編

定価 4,400 円／B5 判・138 頁／医学書院／2020

精神科の診療ガイドラインの使い方をレクチャーする実践的講習会のテキストを大幅に加筆修正し書籍化。二大疾患とも言える「統合失調症」と「うつ病」について、症例をもとにガイドラインを用いた治療の進め方などを紹介。患者の問題点の洗い出しから治療方針の立て方、処方変更（とそれによるメリット・デメリット）など、実際の臨床場面における具体的な考え方や対応を幅広くまとめており、明日の診療に活かせる知識が盛りだくさん！